

# さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/> e-mail [sanukigakuen@kouzenkai.jp](mailto:sanukigakuen@kouzenkai.jp)

[題字] 真言宗善通寺派管長 櫻原禅澄 大僧正 猊下



「園長、お客さん。」の声とともに、制服姿の男女が立っている。

自信にあふれる声で高校進学の記事がある。体も心も大きく感じる。

まずは、最初の関門である

高校受験をみごと突破してくれた。

在園中のやりとりが頭をよぎり、思わず、顔がほころぶ。そうこうしていると、

髪を染めた女性二人が応接室へ入っていく。

定時制高校を卒業して、

就職が決まったと友だちと一緒に報告に来てくれた。

高校へ通いながら、

休みの日にはしっかりとアルバイトをして

家計を助ける子どももいる。

いずれも親元へ帰り、

家族とともに暮らす子どもたちである。

家族との生活は、常にバラ色ではなかったはずであるが、

家族とともに暮らす「あたり前の日々」が彼らを支えた。

彼らには、お手本がいた。

定時制高校へ通いながら、アルバイトをやりとげ、

アルバイト先へ正社員として採用された子。

仕事をしながら短期大学（三部）を卒業して、就職した子。

学園での生活に、「なぜ?」、「なぜ?」と問いかけながら、

答えのない日々を過ごす中で、ひとりの生活を選び、

そのために、必要なこと、しなければならぬことを

「やり遂げた」子どもたち。

職員が入れ替わり立ち替わり、

子どもたちの近況を聞きに来る。

近況を語る子どもの顔も

「うん、うん」とうなづきながら話を聞く職員の顔も

笑みがこぼれ、輝いている。

至福の時間が過ぎる。

讃岐学園

土釜

一

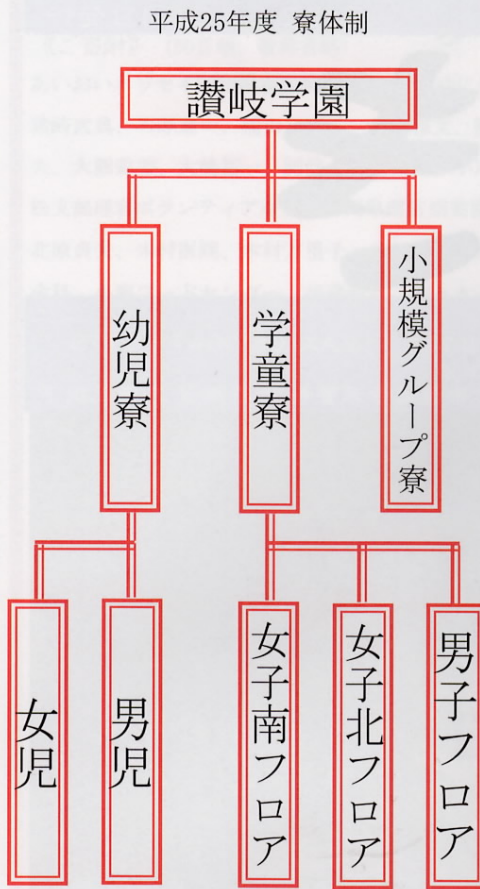


【理念】 濟世利人  
 世の中を救い、人びとに利益を施すこと。これが弘法大師の願いであり、活動であります。

【基本方針】

- 平和な日々を子どもと家族が幸せに暮らせるために。
- 子どもの権利を守ります
- 安全で安心な生活を保護します
- 職員は子どもとともに育ちあいます
- 職員は専門的な知識と力をつけます
- 家族とともに子育てします
- 地域の一人としてともに歩みます

私たちは、この濟世利人の考えを元に、職員集団のチーム力を活かして子どもたちの養育・支援にあたります。「子どもの権利ノート」や「全国養護施設協議会・倫理綱領」を子どもたちとともに学習し、権利擁護の意識の向上と倫理観の醸成に努めます。養育・支援の力をつけ、専門性を向上させるため、外部研修や研究会などに積極的に参加するほか、施設内研修を充実して自己研鑽に努めます。職員一人一人が自分の意見を持ち、それを戦わせながら共通理解を図り、子ども一人一人にとって、より良い養育・支援方針を導き出します。職員が子どもたちの良きモデルとなるように、一人の社会人として、仲間として職員集団を結束し、チームの力を生かします。



1. 子どもの生活目標 「安全・安心で楽しい学園生活」

みんなが笑顔で、笑い声の絶えない学園生活にします。  
 ○ 年齢にあった個々との話し合いの場を持ち、直面している思いや、将来のことなどを共に考え、社会的視点での見方や考え方を身に付け、明るい見合いをめざします。

○ 安全・安心で楽しい生活を送るために、周りの人たちの色々な気持ちにも気づき、子どもが自分の気持ちを素直に表せていけるような生活の場にします。

2. 子どもの養育・支援方針 「より家庭的な環境の中での養育・支援」

小グループ化を進め、いろいろな個性を持った子どもたち、ひとりひとりにあった養育・支援を行います。

○ 幼児寮  
 ・ 生活空間を男女2つのグループに分け、それぞれに職員がかかわり、小グループ単位での養育・支援を行います。

○ 学童寮  
 ・ 男子、女子①、女子②の年齢構成にバランスの取れた3つの縦割りグループに分け、グループごとの生活空間を確保します。また、兄弟は、できるだけ同一グループにし、より家庭的な雰囲気の中で生活します。被虐待児童や発達障がいを持つ子どもにも専門的な知識で関わり、どんな子どもでも生き生きと生活できるように養育・支援を行います。地域・教育・医療・行政など、様々な関係機関と連携し、その子にとっての最善の養育・支援を行います。

【ボランティア募集】

- ◇ 学習ボランティア  
 小・中学生の宿題を見てください。基本的なことで結構です。
- ◇ 保育ボランティア  
 将来子どもと関わる仕事につきたいと思っっている方、大歓迎です。
- ◇ その他  
 清掃など自分の得意とする分野で始めてみようと思っっている方！





## 新任職員紹介

学童寮女子北フロア

井口卓音

みなさん、はじめまして。女子北フロアの井口卓音と申します。円卓の「卓」に音楽の「音」で「たくと」と読みます。音の字の読み方でよく女性に間違えられますが、男です。よろしく願いいたします。大学在学中に実習でお世話になり学園の子どもたちとふれあい、ご縁が重なって昨年の十一月から女子北フロアで働かせていただいております。ほぼ毎日の関わりの中で子どもたちによって考えさせられ、子どもたちによって元気をもらい充実した日々を送っております。至らない事が多いと思いますが、この学園で『僕にしかできないこと』を探しながら、男性職員は人数も少なく、また最年少ということなので精一杯頑張っていきたいと思えます！

サポーター看護師

竹内栄作

昨年十一月から讃岐学園で

看護師として働かせていただくようになり半年が過ぎました。養護施設での勤務経験がなく、また前例もない中で看護師として何ができるかを日々考えます。病院とは違って限られた生活空間の中で感染症にかかった子どもの対応や、受傷した際の処置や医療機関の受診も必要になります。また、施設入所時に定期の予防接種を受けれていない子どもが多いためスケジュールの管理も必要になってきます。予防接種をはじめ子どもたちの健康管理ができるよう自己研鑽に努めていきたいと思えます。よろしく願いします。

幼児寮

川東淳子

昨年十一月より幼児寮に配属になりました川東と申します。児童養護施設で自分も何かできる事はないだろうかと思っていた時期に偶然にも知り合いの方からお話しをいただき、ご縁もあって讃岐学園で働かせていただく事となりました。はや半年が経過しましたが、実際の現場は本当に大変な事が沢山待ちわびて

て、現実の厳しさを毎日痛感しています。いろんな顔をみせ変化し続ける子どもたち自分はどう関わっていくかの課題は常にありますが、先輩の方々からの助けをうけながら、チームワークや心を大切に、私も子どもと一緒に成長できるように過ごしていきます。未熟なところが多々あり、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

幼児寮

松本成未

この度、四月より讃岐学園の幼児寮でお世話になることになりました松本成未と申します。よろしく願いします。この讃岐学園は、大学の実習でとてもお世話になった施設です。実習は、毎日が充実していてもやりがいのある仕事であると強く感じました。実際、実習とは違い、職員として働く事の大変さを感じていますが、子どもたちの見せる様々な表情や姿を見ながら日々、子どもや先輩方から学

ぶことがたくさんある中、色々なことを吸収しつつ、子どもと一つ一つのかかわりを大切に、元気に過ごしたいと思っております。私自身未熟な部分が多々あり、ご迷惑をおかけすることもありますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

幼児寮

久保志子

四月から讃岐学園の幼児寮で働かせていただくことになりました久保志子です。自分が想像していた以上に、とても大変で難しい仕事であることを実感しています。不安でいっぱいですが、先輩の職員に支えていただき、また子ども達の笑顔に元気をもらいながら、笑顔を絶やさず頑張っていきたいと思えます。そして、日々子どもと接する中で学ぶことがたくさんあります。子ども達の適切な接し方など、自分自身の課題を見つけていきしっかりと勉強していきたいと思えます。宜しくお願いいたします。

## 新しくなった子どもの権利ノート

子どもの権利ノートが新しく改正されました。これに伴い、様々な境遇の子どもたちが学園において、少しでも楽しい生活を送れるように、学童寮ではF E会（子どもも自治体）などで、幼児寮ではおやつを食べる時などに、子どもたちと権利ノートの読み合わせを行っています。







## 卒園児童の言葉、在園児童の言葉

卒園して思う事

S

私は、讃岐学園での生活がなければ、今の幸せな生活はなかったと思います。約三年半、様々な経験をして様々な思いをしたことで、厳しい社会に負けない自分になれたと感じています。

学園で過ごすことになった初めは、本当に周りの人が怖くて、毎日夜中に目が覚め泣いていたことを覚えています。私を受け入れてくれない子も、もちろんいました。年上の子からはじめも受けたし、新しい学校になじめるまでは時間もかかりました。全部、夢だったら良いのにな、目が覚めたらお父さんお母さんもいてくれたらなど毎日願っていました。年齢がバラバラの人たちと生活していくことがどれだけ不安なのかは、施設に入った子どもたちでなければ分からないと思います。ご飯を食べるのも、お風呂に入るのも、寝るのも、他人なのです。弟と姉も同様に入所していましたが、同じ気持ちだったと思います。

学園生活に慣れてきたのは半年が過ぎた頃だったと思います。慣れると、生活への不安は和らいだし、悩みを相談できる友達もできました。鮮明には覚えていませんが、私は小学六年生になった頃くらいから非常識な行動ばかりしていました。人をいじめる、他人のものを盗む、喧嘩をする、今思えば、あの時の行動は本当に最低だし、やっていた自分が怖いと感じます。きっと、あの時の自分は先生に構ってもらいたかった、誰かに自分の存在を認めてほしかったんだろうなと思います。

マイナスイメージばかり書いていますが、私が大事にしているのは、逆の楽しかった思い出や感謝の思いです。学園を出た今だから言える事ですが、先生なんてただの他人だと思っていました。でも、両親の代わりに叱ってくれて、遊んでくれて、抱きしめてくれて、相談にのってくれて、楽しい行事を考えてくれて、大事にしてくれました。私に多くの先生がかかわってくれました。

ダメなことはダメと止めてくれたこと。辛いことがあったらすぐに気づいてくれて話を聞いてくれたこと。絶対に忘れません。今、こうして家族と幸せな生活を送れているのは見捨てずにいてくれたからだと思えます。学園生活で悩んでいる子、両親と暮らすことのできない子にも、一生懸命相談にのってくれる大人はいるので、いろんなことを諦めながら生きるのはやめて欲しいです。

家庭で新しい生活が始まって四年になりますが、やっぱり家族がこの世で一番大切だなと思います。何がとか、何でかはないけど、お母さんがお弁当を作ってくれて、それを昼休みに友達と食べる。それだけに幸せに感じます。離れて暮らしていた過去なんてなかったかのように、三人で協力し合い、生活しています。二年前の中三の時に、受験が本当に嫌で投げ出したくなりましたが、お母さんの一言一言が心に響き、無事に志望高に合格できました。

たった一人のお母さんのために、たった一人の私の為に、毎日手伝いをしたり、働いてくれたり、何があっても絶対に味方でいてくれる、そんな存在なのが家族です。

(平成二十五年六月二日寄稿)

### 二十年後の自分

Y・Y

二十年後の自分は、仕事をしているのかなあ？ 私は、四歳の時、お母さんがいなかった。そのことを二十年後には、おぼえているのかな？ お母さんのことが分かるのは、下の名前だけ。あとは、写真が、三、四枚、だからもう忘れていく。もし、将来私に子供ができたら、大切に育ててあげたい。私みたいな思いは、絶対にさせたくない！

忘れたくない思い出もたくさんある。それは、楽しかった修学旅行、大好きな友達と、一緒に遊べたりしたこと。だから忘れられない。でも、忘れてしまったらもうよみがえらないかもしれない。新しい思い出がたくさんできて、古い思い出は消えていってしまうかもしれない。だから、その先の未来へ向かって進んで行きたいなあ。だけど、もし進めなかったらもう一度、やりなおしたい。万が一無理だったら、お母さんをさがしてみたい。もう一度会って話してみたいなあ。お母さんに会ったら「産んでくれてありがとう、この命大切にすね」って言って、安心させたいなあ。多分無理だ！と思うようなことを実現して、未来を自分の手で変えていきたい。

二十年後の私が今の自分にかける言葉は、「産まれてきてくれて、ありがとう」って言ってるのかもしれない。それから先生、一年間お世話になりました。

(小学校卒業文集より)



## 職員研修しました！



実際に施設を巣立っていった子どもたちの声を聞き、また、食べることは施設の子どもたちだけでなく、生きている全ての人たちに必要なこと。ということで食べものの旬や栄養について、また、日頃の手洗いがどのくらいできているか、薬品を使い楽しく手洗い実験も行いました。

食育ってなに？

食育とは知育、徳育及び体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通して食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

旬(しゅん)ってなに？

旬とは植物が子孫繁栄のために本来育つべき時期のことです。まず第一に旬の時期にはたくさんの収穫ができるので、鮮度の良いものが安く手に入ります。そして旬のものを旬の時期に食べると同じ食材でも栄養価が高く、栄養価の面以外でも身体に良いのは、私たち人間がそれぞれの時期の身体に必要なものをきちんと含んでいるからです。

5つの栄養素

たんぱく質・・・筋肉、内臓、皮膚、髪の毛など身体をつくるもとになる。  
脂質・・・・・・・・・・体内の血液や細胞膜をつくり、体温を正常に保つ。  
糖質・・・・・・・・消化、吸収のスピードが速く、速攻性のあるエネルギー源になる。  
ビタミン・・・・・・・・免疫力を高め、身体づくりを強くする。  
ミネラル・・・身体の調子を整える。

なんで手洗いは大事？

石けんそのものにウィルスをやっつける力はありませんが、手のアスラやよごれを落とすことで、ウィルスを手からはがれやすくし、食中毒の予防に役立ってくれます。

毎日食べている食べ物は、私たちの体をつくるもとになり、私たちの「いのち」を支えています。食べ物は植物や動物の「いのち」を食べることでもあります。そしてそれをつくる人、つくったものを運ぶ人、それを売る人、料理をする人がいてやっと食べものとして食べることができています。そういったすべてのものに感謝し、「いただきます」の言葉を大切にしていきたいと思えます。

## 緑の砦・完成

高松グリーンロータリークラブさんの協力で、ツリーウッドデッキ・緑の砦が完成しました！！  
ターザンロープに見晴らし台、かざらで編み込まれたハンモック。  
子どもたちも、毎日元気に遊んでいます♪





# ～お遍路紀行～



<平成24年6月10日>

71番 弥谷寺 → 68番 神恵院 → 69番 観音寺 → 70番 本山寺

<平成24年8月20日～21日>

67番 大興寺 歩き → 観音寺駅 → (JR)阿波池田駅 → 66番 雲辺寺

<平成24年11月8日>

86番 志度寺 → 85番 八栗寺 → 84番 屋島寺屋島寺 歩き → 琴電林道

<平成24年12月27日>

琴電林道 → 83番 札所一宮寺 → JR鬼無

<平成25年3月25日～27日>

11番 藤井寺 → 12番 焼山寺 → 13番 大日寺 → 14番 常楽寺 → 15番 国分寺



平成24年度 事業活動収支計算書	
自平成24年4月1日 至平成25年3月31日 (単位:円)	
勘定科目	決算額
利用料収入	0
措置費収入	192,275,993
経常経費補助金収入	8,109,950
寄附金収入	3,131,734
雑収入	2,932,209
国庫補助金等特別積立金取崩額	9,563,839
事業活動収入計①	216,013,725
人件費支出	128,357,413
事務費支出	17,545,337
事業費支出	45,722,252
減価償却費	13,665,800
引当金繰入	1,089,353
事業活動支出計②	206,380,155
事業活動収支差額③ (①-②)	9,633,570
事業活動外収入計④	129,868
事業活動外支出計⑤	1,800,000
事業活動外収支差額⑥ (④-⑤)	-1,670,132
経常収支差額⑦ (③+⑥)	7,963,438
特別収入計⑧	2,000,000
特別支出計⑨	2,000,009
特別収支差額⑩ (⑧-⑨)	-9
当期活動収支差額合計⑪ (⑦+⑩)	7,963,429
前期繰越活動収支差額⑫	122,017,176
当期末繰越活動収支差額⑬ (⑪+⑫)	129,980,605

貸借対照表	
平成25年3月31日現在 (単位:円)	
資産の部	
流動資産	52,046,040
基本財産	528,142,511
その他の固定資産	74,376,584
資産の部計	654,565,135
負債の部	
流動負債	7,049,928
固定負債	6,315,185
負債の部計	13,365,113
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	138,619,417
その他の積立金	52,914,000
次期繰越活動収支差額	124,980,605
純資産の部計	641,200,022
負債及び純資産の部合計	654,565,135

特定非営利活動法人  
**エキスパートチャリティアソシエーション**  
 給湯設備の設置にご協力いただきました。

平成24年度特別配分により、  
 下記物品を購入させていただきました。

<香川県共同募金会>  
 ノートパソコン 3台  
 インクジェット複合機 3台

<香川県共同募金会 高松市支会>  
 テレビ 1台  
 DVDプレイヤー 1台  
 洗濯機 1台  
 掃除機 1台  
 電動ポット 2台  
 オーブントースター 1台  
 ジャー炊飯器 3台



## 子どもたちや保護者の方から要望・意見（苦情）がありました

「苦情解決制度についてのお知らせ」を掲示し、苦情箱を寮玄関・各談話室などに設置して苦情に対応しました。また、小中学校の先生を第三者委員会に委嘱するなど、要望・苦情は、気軽に申し立て、職員・園長と十分に話し合っ

て解決する雰囲気づくりと苦情の解決に努めました。なお、第三者委員への申し出はありませんでした。

内容	対応と結果	申請者	件数
○保護者から。 ・いじめをうけている。 ・子どもの写真がホームページに掲載されている。 ・子どもの生活状況の連絡方法が不適切。	・子ども同士の間関係、日常生活状況を丁寧に説明し、児童を注意深く見守る。 ・以後掲載しない。 ・状況を説明し、連絡方法を再確認。	保護者	5件
○家へ帰りたい。	・学園で生活することについて、子どもの状況に合わせて説明。 ・必要に応じ、センターワーカーに説明を依頼し、保護者に子どもの気持ちを伝えた。	年長女子 小1女子 小2女子	7件
○不安なこと。 ・小学生になるのが不安。 ・帰省して子どもがいなくなり、一人で寝るのが不安。	・話をよく聞き、職員がいつも見守っていることを説明。	年長女子 小1女子 小2女子	4件
○要望。 ・部屋換え。 ・食事の席。 ・ゲームを自分で持ちたい。 ・就寝時間。	・部屋換えを実施。 ・席の配列について話し合う。 ・ゲームはトラブルが多いので、しない時は職員が預かる。 ・早寝早起きの習慣について話し合う。	小3女子 小4女子 小5女子	7件
○職員との関係 ・担当職員の希望 ・職員が差別 ・男子職員の入室	・話をよく聞き、話し合う。 ・話をよく聞き、子どもはみんな平等であると説明。 ・プライバシーを守りながら、子どもの安全のために入室することについて話し合う。	小3女子 小4女子 小6女子	6件
○友だち関係 ・いじめ、暴力 ・いやがらせ ・けんか	・個々の子どもと話をしたり、当事者と話し合う。 ・権利ノートの読み合わせの中で、いじめ、暴力について職員と一緒に考え、話し合う。	小1女子 ～ 小6女子	54件



## 多くの方々のご厚志に深く感謝致します

《ご寄附》 (50音順、敬称省略)

あいおいニッセイ同和損害保険 (株) MS&ADゆにぞんスマイルラブ、愛染興業 (株)、青木淑郎、浅野八王子八幡神社、朝日園、旭商工 (株)、猪崎武典、石原憲一、稲田ヒデ子、今雪雅文、漆原都子、梅谷博之、栄光寺、エキスパートチャリティアソシエーション、江島繁夫、江島唯夫、大熊彩香、大嶋裕一、岡静子、岡田晃、小川彗つ、織田幸男、海部医院、海部映子、香川県共同募金会、香川県理容生活衛生同業組合高松支部理容ボランティア有志、香川県露店商業協同組合、川井郁子、カワゾエ衣料センター、川田浩、河村ゆうこ、神原博、キナシ大林医院、北原貞夫、木村医院、木村万里子、木村保夫、京都長岡京市北二地区民生児童委員協議会、久保和彦、黒川商店、黒田実、香西良人、こうじ歯科、小西フードセンター、後藤敏弘、佐々木一子、(株) サニークリーン四国、(株) サンフローラ、完土剛、柴田廣子、柴田芳樹、下司さゆみ、小豆島更生保護女性会、白鳥太鼓前田同好会、新光工芸 (株)、杉山映子、杉山直人、鈴木明子、瀬尾北斗、全国シャンメリー協同組合、総本山善通寺、第一三共 (株)、ダイヤ食品 (株)、高橋國光、高橋石油、高松キワニスクラブ、高松空港ライオンズクラブ、高松グリーンロータリークラブ、(株) 高松産業廃棄物センター、高松市シルバー人材センター、高松市赤十字奉仕団、高松市赤十字奉仕団川添分団、高松市赤十字奉仕団前田分団、高松守成クラブ、高松市消防局、高松信用金庫元山支店、高松青年会議所、高松中央ライオンズクラブ、高松東高等学校陸上部、高松東ライオンズクラブ、高松東ロータリークラブ、竹下和弘、(株) たまや、田村圭子、タリーズコーヒージャパン (株)、地方紙正月連合企画、中国アイスクリーム協会、中條鉄子、(有) 辻造船鉄工所、豊島神愛館 (笠井)、東新電機 (株)、ときわ会、中村絹代、ナヒド・ソバハニ、西尾修三、ニッコー高松中央店、日本鏡餅組合、日本児童図書出版協会、畑福美、東町本若、(有) 東原商店、百十四銀行三木支店、平井一也、平井寿子、広瀬石油、(株) ビンゴ、フードバンク、藤澤吉久、フジユニオン、(株) ブックオフ・カーブス、古川博司、インテリアフルハウス (有)、前田校区連合自治会 (滝川三郎)、前田地区婦人会、前田地区民生委員児童委員協議会、(株) マキタ、松成一市、松本昌朗、(株) 松本光春商店、(株) 丸八真綿販売、マルハン高松店、三井住友海上 (株) 社会貢献室、三越伊勢丹グループ労働組合、(株) 三菱東京UFJ銀行、三野ハル子、宮宇地すみ子、宮脇勉、門司一徹、本藤貴則、森一真、森澤義夫、森下未希、森本美樹、やしま第一健康ランド、(有) 山地青果、吉田孝平、りんどう友の会、(株) ルーヴ、(株) ルミカアウトレット寄贈係、渡辺久子、匿名

《ボランティア》

香川県理容生活衛生同業組合高松支部、香川ビルメンテナンス協会、高松中央ライオンズクラブ、高松青年会議所シニアクラブ、学習ボランティアの皆様、香川県室内装飾事業協同組合

《招待》

善通寺総本山、仲南愛の会、六車健、勝田照望 (アロハフェスティバル)、さらスポーツ、弘恩苑、法寿苑、香色苑、専光寺、オリックス財団、高松市赤十字奉仕団

《慰問》

香川県露店商業協同組合、京都長岡京市二地区民生児童委員協議会、高松シルバー人材センター、劇団レムリアの風四国、ナヒド・ソバハニ、庵治町小さな親切運動 (打越謙司)、ワールドメイト、小豆島更生保護女性会、東町本若獅子舞、高松空港ライオンズクラブ、高松市文化芸術財団

### <編集後記>

編集を終えて。個性豊かな子どもたちばかりで、本気で腹の立つ時の方が多いというのが本音ですが、一緒に談話室で過ごしている時、子どもが私の二の腕を掴み「プニプニや！」と笑いころげる姿を見て幸せを感じ、そんな他愛もないひと時を大切にしたいと思っています。子どもたちの持つパワーに振り回され、時には真剣に叱り、子どもの成長に涙する、目まぐるしい日々を送りつつ、この子どもたち一人一人が幸せになれるように全国児童養護協議会倫理綱領を元に私たちは自己研鑽に励んでいます。



### ～ 後援会員募集中 ～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円  
個人会員 1口2,000円

○ゆうちょ銀行  
01650-2-5168 讃岐学園  
○百十四銀行本店営業部  
普通預金0119413

社会福祉法人弘善会  
児童養護施設讃岐学園後援会  
事務局長 土釜 一